

一般社団法人 日本創傷外科学会

専門医試験

～筆記試験過去問題集～

第4回専門医試験

問題 1) 以下の顔面・頸部の筋のうち、顔面神経支配でないのはどれか。

1. 前頭筋
2. 顎二腹筋後腹
3. 側頭筋
4. 頬筋
5. 大頬骨筋

問題 2) 頭皮について正しいのはどれか。

1. 創を生じても出血は少ないのが特徴である。
2. 創縁からの **woozy bleeding** は、可能な限りすべて電気メスで止血する。
3. 縫合糸痕を防ぐため、抜糸は 3 - 4 日目に行うのが良い。
4. 主たる血行は頭蓋骨からの穿通枝である。
5. 帽状腱膜下で比較的容易に剥離できる。

問題 3) 骨折線が眼窩を通らないのはどれか。

1. 鼻篩骨骨折
2. 頬骨骨折
3. LeFort I 型骨折
4. LeFort II 型骨折
5. LeFort III 型骨折

問題 4) 手根管の中を通らないものはどれか。

1. 深指屈筋腱
2. 浅指屈筋腱
3. 尺側手根屈筋腱
4. 長母指屈筋腱
5. 正中神経

問題5) 手の外科について正しいのはどれか。

1. 猿手は尺骨神経麻痺に特徴的な所見である。
2. 掌側骨間筋は正中神経によって支配されている。
3. 正中神経麻痺では、示指に知覚障害を来たさない。
4. 虫様筋は橈骨神経に支配される。
5. Claw finger は骨間筋、虫様筋の麻痺によって生じる。

問題6) 新鮮熱傷における Tangential excision について誤っているのはどれか。

1. 受傷後 3~5 日以内に行う。
2. 点状出血が見られるまで熱傷創を切除する。
3. III度熱傷を対象に行う。
4. 手背は良い適応である。
5. 熱傷後早期の組織壊死の拡大を防ぐのが目的の1つである。

問題7) Mesh skin graft について誤りはどれか。

1. 少量の皮膚で大きい欠損創が被覆できる。
2. 6倍メッシュより3倍メッシュの方が上皮化がすみやかである。
3. 分層皮膚を利用する。
4. 感染創でも生着しやすい。
5. 肘、膝などの関節部が良い適応である。

問題8) 褥瘡の記述で誤りはどれか。

1. 臥位にて最も接触圧が高いのは仙骨部である。
2. 臥位にて2番目に接触圧が高いのは踵部である。
3. 応力=荷重である。
4. 浮腫は褥瘡発生の危険因子の一つである。
5. 関節拘縮は褥瘡発生の危険因子の一つである。

問題 9) 褥瘡の管理について誤りはどれか。

1. 仙骨部褥瘡の管理では、体位変換は基本的には 2 時間ごとに行う。
2. 仙骨部褥瘡の管理では、頭側挙上角度は基本的には 30 度までである。
3. 頭側挙上時は、まず足側を挙上する。
4. 仙骨座りでは尾骨に圧がかかりやすい。
5. 壊死組織が存在する際には消毒が効果的である。

問題 10) 糖尿病性足潰瘍で誤りはどれか。

1. 末梢神経障害では足底荷重部に潰瘍を形成しやすい。
2. PAD を合併しやすい。
3. 単一感染よりも複合感染が多い。
4. HBO は骨髄炎には効果がない。
5. 骨髄炎の画像診断で感度・特異度が最も高いのは MRI 検査である。

問題 11) 重症下肢虚血で正しいのはどれか。

1. Fontaine III 度は重症下肢虚血である。
2. Rutherford 4 度は潰瘍形成がある。
3. 壊死組織のデブリードマンは末梢血行再建術前にすべきである。
4. 一般に血管内治療はバイパス術よりも多くの血流が期待できる。
5. 下肢大切断後の生命予後は非切断と同等である。

問題 12) 二分脊椎症で誤りはどれか。

1. 脊髄髄膜瘤の合併が多い。
2. 足部潰瘍は装具によるものが多い。
3. 膀胱直腸障害を合併しやすい。
4. 足部の骨格変形を生じやすい。
5. 下肢の血管障害を合併しやすい。

問題 13) 正しいものはどれか。

1. 神経線維腫症患者はケロイドや癬痕になりやすい。
2. アトピー性皮膚炎患者はケロイドや癬痕になりやすい。
3. 白人種の皮膚はケロイドや癬痕になりやすい。
4. 足底荷重部はケロイドや癬痕になりやすい。
5. 1. ~4. すべて正しい。

問題 14.) 創傷被覆材で正しいものはどれか。

1. 創傷被覆材は、創を乾燥させやすい。
2. ハイドロコロイド材は、少量の壊死組織なら融解させる効果がある。
3. ポリウレタンフォーム材は、滲出液の吸収性が低い。
4. アルギン酸塩製材には、抗菌効果がある。
5. Ag 含有製材には、止血効果がある。

問題 15) 濃硫酸による化学損傷を受傷した。正しいのはどれか。

1. 水酸化ナトリウムで中和する。
2. アンモニア水で洗浄する。
3. 流水で十分に洗い流す。
4. 緊急 NPWT (Negative Pressure Wound Therapy) の適応である。
5. 積極的にデブリードマンを行う。